

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		その他専門店〔楽器〕 （経営者）	・年末年始のイベントに期待している。新型インフルエンザも少しずつ落ち着いてきている。観光客も徐々に回復していくと見込む。
		通信会社（店長）	・新商品発売や、ボーナス商戦に向けて開始するキャンペーンの影響が出る。
	変わらない	百貨店（営業担当）	・景気後退の影響を受けた各企業の今年度決算が近づくにつれて、消費マインドが改めて低下することも懸念される。
		スーパー（販売企画担当）	・明るい材料が無いので、単価の下落と来客数の減少している状況は続く。
		コンビニ（経営者）	・新型インフルエンザに影響される。
		コンビニ（エリア担当）	・周囲の経済環境や個人の消費力は変わらないため、タスポ効果の反動があっても、客単価は変わらない。欲しい物があれば買うので、景気に左右されている傾向はあまり感じられない。
		衣料品専門店（経営者）	・街の雰囲気を見ても、あまり活気が感じられず、回遊客も少ない。これから先もあまり変化は無い。
		乗用車販売店（経理担当）	・特に良い材料も悪い材料も無い。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・既にクリスマスへ向けた販売促進や年末商戦の時期を迎えているが、受注につながる気配が無い。年明けに関しても、具体的な沖縄観光へのプラス要因が見つからない状況が続くと考えられ、なかなかこの苦境を抜け出すことができないことが懸念される。
	住宅販売会社（商品開発担当）	・来客数や問い合わせ等を含め、不動産市場が活発に動くような要素や雰囲気は、今の段階では見当たらない。	
やや悪くなる	コンビニ（経営者）	・現在開催中の年末セールの上売りが、前年を下回っている。この様子だと今後もあまり期待できない。	
	コンビニ（エリア担当）	・観光客の減少にはまだ歯止めがかからないと判断する。	
	旅行代理店（代表取締役）	・デフレ傾向で旅行代金下がっているが、繁忙期の年末年始の旅行代金、航空券代金にかなり割高感があるようで動きが鈍い。年明けの連休にも航空会社はバーゲン運賃などを設定しているが、動きは鈍い。	
	通信会社（店長）	・この年末商戦時期に市場が活性化し、上向き傾向にならない限り、今後は景気が回復していくとは考えられない。	
	観光名所（職員）	・冬のボーナスの減少、大手航空会社の人員整理報道、政府のデフレ宣言等、国内景気はますます低迷することが予想される。県外観光客に頼る沖縄観光は、ますます厳しくなる。	
悪くなる	商店街（代表者）	・まだ新型インフルエンザの影響があり、中心商店街の観光客も来客数も減少傾向にあるので、売上に大変影響が出ている。ここ近年のデフレによる影響も今後出てくるのではと懸念される。観光土産品店等の同業者が増えて客の奪い合いをしており、単価も落ちている。	
	その他専門店〔書籍〕 （店長）	・商品が売れないと、出版社も刷り部数を減らすため、首都圏から離れた店舗には配本自体がなくなり、更に売上を減らすというスパイラルとなり、そこからなかなか抜け出せない。また、ナショナルチェーンが全国に出店し地域の小さな書店は存続が難しくなる。	
	その他飲食〔居酒屋〕 （経営者）	・地元客、観光客共に予約状況が例年の3分の1しかなく、忘年会の自粛は家計の防衛で仕方ないとの客の声が聞かれる。美味しさ、サービス以上に価格に敏感で、なおかつ、ボリュームが無いと関心を持ってくれない。50%割引でも駄目で、1円でも安い店に流れている。	
	観光型ホテル（総支配人）	・宿泊予約状況は前年同月比で55%となっている。価格見直しで集客を図るが、効果はいまだ無い。エコカーやエコポイント対象家電への消費傾向は強いが、旅行消費は抑える傾向が強い。	
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	建設業（経営者）	・問い合わせ及び引き合い件数が増加している。
	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	・大型工事予定物件の引き合いが無く、厳しい見通しである。

	輸送業（営業担当）	・年明け以降は正月や成人式など出費が増える時期であるが、不況によるボーナスカットや、新型インフルエンザ流行であまり期待ができない。また、政府の事業仕分けによる予算カットの影響も気になる。	
	輸送業（代表者）	・現状以上に好調になるには民間物件の盛り上がりが必要だが、その見込みは無い。	
	通信業（営業担当）	・受注の話があっても、景気の動向を意識しているのか、なかなか時期が確定しない。	
	広告代理店（営業担当）	・新たな競争時代に入ったモバイル産業、エコ商品を核とする環境産業など、一部の業界では販促活動が活発化する動きがあるものの、広告市場全般としては、まだまだ苦難の時代である。相変わらず行政関連の予算に依存せざるを得ない状況が続いている。	
	やや悪くなる	食料品製造業（管理部門）	・量販店での売上が減少してきている傾向があり、出荷量が悪くなっている。また、デフレ傾向の影響を受ける。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	求人情報誌製作会社（営業担当）	・例年なら、年が明けると春先に向けて徐々に採用活動は活発になっていく。しかし、落ち込んでいる観光産業を中心に他の業界でも厳しい状況が好転するという話はあまり聞かない。今月よりは多少状況は上向きになると期待したいが、ほとんど差は無いと見ている。
	やや悪くなる	人材派遣会社（経営者）	・現在が伸び悩み、また派遣終了で低迷している状況があるなか、得意先の動向を見ても派遣依頼に結び付くような話は少なく、しばらくは厳しくなる。
		職業安定所（職員）	・求人事業所の動向としては、県、国の就職支援制度を活用し、従業員の雇用を検討するという求人の提出が顕著になってきている。
	学校 [ 専門学校 ]（就職担当）	・県内外の求人数が落ち込んでいる。来年度の景気の見通しが立たないため、新卒及び中途採用を予定している企業は慎重な動きになっている。	
	悪くなる	-	-